

競技会場の放送エリアの運営

受注者は、競技会場の放送エリアを運営するために、経験豊富なマネジメントスタッフを配置して、RHBが業務を円滑に行うための環境を整える責任を負う。

想定している運営スタッフは下記のとおり

- ・ 放送ベニューマネージャー (BVM)
競技会場における放送エリアの統括管理責任者
- ・ ベニューテクニカルマネージャー (VTM)
競技会場における放送エリアの技術責任者
- ・ コメンタリー/ユニラテラルサービスマネージャー
RHBが利用するコメンタリーポジションやその他のエリアでの管理責任者
- ・ 放送リエゾンオフィサー
発注者の各部署間の情報伝達を円滑にし、調整・課題解決を行う担当者。
 - ※ 各運営スタッフは英語でコミュニケーションが可能（日本語でもコミュニケーションが可能であると望ましい）であること。
 - ※ LIVE会場は、基本的に上記の4名で構成されるが、必要があれば競技の規模に応じて増員する。
 - ※ ENG会場は、必要な業務を支障なく遂行できるようであれば、各スタッフの兼務可とする。

想定している競技会場の放送エリアと主な業務は下記のとおり。

ア. カメラポジション

受注者は、事前に計画されたカメラポジション（プラットフォーム含む）が適切に確保されているかを確認し、スタッフが安全に業務を遂行できるように発注者の各部署と調整を行わなければならない。また、受注者はRHBのカメラポジションの割り当ての調整を行う。カメラマンがポジションへアクセスするために必要な補助アクセスデバイス（SACDs）の管理（配布・回収）も行う。SACDsは発注者が作成し受注者に提供する。

イ. コメンタリーポジション

受注者は、競技会場のコメンタリーポジションに適正な数の放送機材を設置し、RHBが円滑に活動するための割り当ての調整を行う。テーブル、椅子、コメンタリーインフォメーションシステム（CIS）は発注者が用意する。RHB用放送機材の費用はレートカードでRHBから回収するものとする。集金方法については契約後に協議のもと決定する。

また、受注者及びRHBが制作した音声信号（実況・解説）を Commentary Control Room で集約し、IBCへ送信する。

ウ. 放送コンパウンド

受注者はスタッフ、機材、観客の安全性に十分に配慮して、業務に支障が出ないように運用する。放送コンパウンド内の仮設物（キャビン等）、インターネット・電話回線を含む伝送回線、警備（24時間）は発注者が提供する。

提供するものは以下を含む。

- ・ 仮設物の設置と管理
- ・ アクセスの制御
- ・ 回線、ネットワーク

※受注者及びRHBが制作した映像・音声信号（実況・解説を除く）を Technical Operation Centre へ集約し、IBCへ送信する。

- ・ RHBへのサポート

エ. テクニカルエリア

放送コンパウンドスペースを確保できない競技会場においては、屋根付き空調完備の既存の諸室をテクニカルエリアとして使用する場合があります。受注者はスタッフ、機材、観客の安全性に十分に配慮して、業務に支障が出ないように運用する。

オ. アナウンスプラットフォーム・プレゼンテーションスタジオ

RHBからのリクエストがあれば、受注者は競技会場に設置したアナウンスプラットフォームやプレゼンテーションスタジオに照明及び関係する機材等を設置し、エリアを管理しなければならない。仮設物は発注者が提供する。照明及び関係する機材等の費用はレートカードでRHBから回収するものとする。レートカードの注文期限、集金方法については契約後に協議のもと決定する。

カ. ミックスゾーン

受注者は、選手の移動を妨げないようにしながら、RHBが円滑にインタビューできるように、照明等を設置し、エリアを管理しなければならない。選手とメディアの動線を仕切る柵、スポンサーボード、C I S、仮設物は発注者が提供する。